

議論の基本的な進め方

資料2

とち高高等教育推進まちづくり会議

「地域発展に特に重要な人材像」の議論と共有

例えば

- 経営感覚を持つ農業経営者
- 産学コーディネート人材
- 食・農業周辺での起業を志す人材

地域の持続的発展を目指す長期的視点に立ちつつ、以下などを踏まえ

- ・地域産業の特性
- ・地域資源
- ・地域の高等教育機関の機能

望ましい人材育成プラン・プログラムの議論

主な論点	◎畜産大学に期待する役割	◎地域各団体の役割と協力体制	◎域外に頼る分野 ◎域外と重点的に連携を深める対象・分野	◎整備・充実が望ましい施設・仕組み
ねらい・趣旨	<ul style="list-style-type: none">●社会人教育コースの充実●国のTPP対策である農業人材育成強化の動きに呼応●大学院再編構想への布石	<ul style="list-style-type: none">●各団体の役割・機能に応じた人材育成の実践●地域の連携体制の構築●地域企業への人材定着	<ul style="list-style-type: none">●人材活躍の場の充実●地域産業への波及効果	<ul style="list-style-type: none">●整備・拡充の要望活動の裏づけ・後押し●大学基金の活用

具体的な議論スケジュール・想定する論点

①地域発展に必要な人材像の議論(H28.1~)

- ◎現状の地域の人材育成プログラムの把握、共有（※食・農関係を中心に）
- ◎他地域の類似事例、先進事例の調査研究
（山形県、高崎経済大、長崎大、佐賀大、熊本大などの取組）
- ◎産業界等の具体のニーズなどの確認
- ◎人材像の具体化の議論

②望ましい育成プラン・プログラムの議論(H28年度後半)

- ◎プラン・プログラムの内容議論（※大きな分野や枠組みとして）
- ◎各団体の役割と協力体制の検討
- ◎新たな関係機関への働きかけ（金融、短大、専門学校など）
- ◎域外企業等との連携検討（コンサル系企業、民間人材育成機関など）
- ◎整備・充実が望ましい施設の議論

H29の秋頃を目途に整理